

10月14日の衆議院解散、19日公示・31日投開票の総選挙日程が固まりました。四国4県の日本共産党と後援会は、比例代表での議席獲得・白川必勝と選挙区での日本共産党・野党統一候補の勝利をめざして、総決起しています。

## 岸田政権では政治は変わらない、日本共産党躍進で政権交代を必ず

白川よう子比例候補は10月5、6日に岸田政権発足後初めて高知県入りしました。5日は、佐川町議選挙の告示日で橋本陽一候補（現）を応援、午後は高知市鏡地域で訴えました。

夕方は高知市の県庁前交差点で、高知市の県議4人と市議団7人が勢揃い、駆けつけた後援会員がプラスターを掲げビラを配布しました。勤務帰りの県庁、市役所職員はじめ通行の人たちが耳を傾けました。



高知市県庁前で白川さん・中根さんが訴え  
県議団・市議団せいぞろい



春名直章高知県委員長が司会、中根耕作候補と白川さんが訴えました。中根候補は、岸田首相が「特技は人の話を聞くこと」と言いながら、予算委員会も開かず解散することを批判、「国民の声を聞き、

願いを実現する新しい政権を。比例で日本共産党の躍進を」と訴えました。白川さんは「岸田内閣は、自身も人事も安倍・菅直系」とし、市民連合と4野党の政策合意、立憲民主党と日本共産党の政権合意ができたことをあげて、野党共闘の要の党躍進を訴え、「今度の総選挙は命のかかった選挙」と決意を語りました。



### … 白川さん、小豆島で訴え … … … … …

白川よう子候補は7日、小豆島に宣伝カーで渡り、島内をめぐって各所で「人の命を何よりも大切に政治を」と訴えました。党と後援会の決起集会も開催され、中谷浩一香川県委員長が総選挙の情勢と意義、方針を報告し、白川さんは決意を述べました。

夜は高松市に帰り、決起集会に出席しました。

## 公示後の日程が順次、決まる

四国ブロック事務所と各県では、白川よう子さんはじめ、各候補者の公示後の日程づくりを急いでいます。

公示日の19日、白川さんは朝は地元・高松市で、午後は徳島市でそれぞれの政党カーで出発式でありさつ、夕方は高知市で比例カーでの出発式に臨みます。

幹部遊説は、志位和夫委員長が28日正午から高知市県庁前、5時から松山市駅前、小池晃書記局長は22日香川、徳島入りすることが決まりました。